

せの社協だより

第90号 令和5年度(10月11日)

瀬野学区社会福祉協議会
(瀬野福祉センター内)

〒739-0311

広島市安芸区瀬野一丁目 4-19

今年は早くから暖かくなり、桜の花も迷いも無く満開となり、と同時に山々の若葉が色鮮やかに染まった4月8日、令和5年度の総会を開催いたしました。総会で決定しました前期の行事のご報告を致します。

5月 弥生会 第1回目

寒くもなく暑くもなく気持ちの良い5月13日に、お一人暮らしの方と役員とで手作り作品に挑戦しました。

今回は夏のお出掛けに持って歩ける「手提げカゴ」です。講師は、お馴染みの猪野優子さん。何事も「準備8割」という言葉があり、当日が成功するかどうかは全て準備にかかっているという意味です。

いつも準備8割をしてきて下さり参加をされた方も

「ここまでやってもろうとるんじゃけ仕上げんにやね」と、時間内に、ほぼ完成!

出来上がった「カゴ」に「さくらの会」さんの手作り弁当を早足入れて笑顔で解散となりました。

◎同日、午後から福祉委員会を開き今年度の活動のご協力をお願いを致しました。



6月 策定委員会

この委員会は「瀬野学区の交通問題や環境問題、そして、高齢者や児童・生徒、まちづくり、防犯、防災と7つの部会で活動しています。毎年、瀬野に住んでいる人が住みやすく、又、環境が良くなる為に計画を立て実行し、安心安全なまちづくりに日々精進しています。



まちづくり部会



高齢者部会



環境問題部会



交通問題部会



防災部会



児童・生徒、子育て支援部会



防犯部会

7月 献花

あの西日本豪雨災害から丸5年が経ち月日が過ぎていくのを早く感じます。今年も市長様を始め多くの地域の皆様に7月6日、午後12時50分、災害慰霊碑の前で献花を行いました。前日、翌日は大雨でしたが7月6日の当日だけは晴れて、ご冥福をお祈りし手を合わす事が出来ました。住宅の周りはいきれいになりましたが、まだ、あちこちの川の中には大きな石が、そのままになっています。その石を見るたびに、あの時の事を思い出し、今後も忘れないように、地域の防災についてももしっかり考えて参りたいと思います。



7月 合同研修会

梅雨まっただ中の7月8日、高齢社会を良くする女性の会・広島代表の春日キスヨ様にお越し頂きました。社協役員、福祉委員、民生委員、自治会・町内会会長・弥生会、その他の150名の参加の元「人生100年時代の高齢者の暮らし方」について約1時間色々沢山話された中で

- ・地域で覚えてもらっておく関係を作っておくこと。
- ・行き場が有る、する事が有るが必要。
- ・出来ることは自分です。出来ないことは頼る。
- ・お金・筋力・近所力(3K)を、こつこつと貯める。

等、長い人生の歩み方と地域とのつながりをもつ事の大切さを教えて頂きました。



8月 敬老会に向けての福祉委員会

8月5日の午後から、瀬野学区社会福祉協議会の一大行事「敬老祝賀式」に向けて福祉委員会を開きました。

75歳以上全員の皆様に案内をして頂く為に、広島市からお借りした名簿から、それぞれ自分の地区の対象者を確認し出・欠を取って頂きました。今年は10年に一度の猛暑と言われる中での、ご協力に心から感謝を申し上げます。



9月 敬老会

これまでの敬老の日とは思えない程、とても暑い9月17日に「瀬野学区敬老祝賀式」を行いました。今年度75歳以上1743名の内、401名と大変多くの皆様にご出席を頂き、会場いっぱいの人・人・人。玄関先ではボランティアの中学生が背中にそっと手を添えて誘導をしたり笑顔で「おめでとうございます」と声を掛けたりと、とても温かくほほえましい光景でした。

第2部のステージ演芸には、これまでオープニングセレモニーとして出て頂いていた、瀬野川東中学校音楽部の皆さんに昭和の曲をたっぷり演奏して頂きました。そして最後「ふるさと」の曲は、生演奏に合わせて敬老者の皆さんが合唱し会場内が一体となった中、盛会に終了致しました。

ちなみに今年度の

- * 男性最高齢者 98歳
 - * 女性最高齢者 104歳
- 100歳以上7名でした。

どうぞこれからもお元気にお過ごし下さい



式 辞



参加者で会場内いっぱい



お祝いの言葉



会場内での男性・女性最高齢者



敬老者代表 謝辞



せのっぴー



瀬野川東中学校 音楽部



ふるさと 合唱

善意のご寄付

この度は、多大なご厚志を賜りまして厚くお礼申し上げます。

この善意は有効に活用させていただきますので謹んで感謝申し上げます。

香典返し	高山 常子 様	上瀬野	4月27日	50,000円
香典返し	佐古田 佐都子 様	瀬野町	7月22日	30,000円

あとがき

今年度はコロナも第5類となり活動の制限も無くなりました。この数年、出来なかった多くの人が一堂に会する機会を出来るだけ沢山作り目には見えない「地域のつながり」や「支え合い」がしっかりと結ばれるよう、常に正しい方向に向いていたいと思います。